

原 若菜さん（平成20年卒）

原若菜公認会計士・税理士事務所 代表

◇お仕事の内容を教えてください

公認会計士・税理士として事務所を経営しています。

公認会計士業務としては、監査法人で非常勤勤務をしながら公認会計士の独占業務である法定監査に従事しています。

また、公益法人の経理担当者向けの研修講師や、顧問先の監事を担当しています。

税理士業務としては、主に医療や美容関係のお客様を対象に、税務や経営のコンサルティング業務を行っています。



◇仕事を通じどんなことに喜びを感じますか

監査業務では、様々な業種のお客様と接する機会があり、また、これまでたくさんの経験を積んできた40代50代の公認会計士の方々とチームを組んで仕事することが多く、日常業務を通じて非常に勉強になります。

自分自身が様々な環境に身を置き成長の機会が多くあること、広範囲な仕事ができることは喜びの一つです。また、監査業務で学んだことを、税務やコンサルティング業務に生かすことができ、お客様にとってより良い経営を行える方法が見つかったときは喜びを感じます。

◇将来の夢を教えてください

今は目の前の仕事一つ一つに精一杯向き合う日々ですが、いつかその点と点が線になり、自分の価値観を大切にしながら自然体で活動することで、もっとたくさんのお客様と繋がれる日が来るのを夢見ています。また、プライベートでは、温泉地に温泉・サウナ付きの家が欲しいです。

◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

陸上競技を頑張ろうと専大北上高校に入学し、毎日練習に明け暮れていました。中学まで唯一頑張っていたのが陸上競技だったのと、受験もできないほどに勉強をしてこなかったため、中学からの延長線上の5科目を普通科で頑張れる自信がなく色々迷いながら商業科に入り、そのまま部活やイベントを楽しんでいました。高校2年生の頃から将来のことが不安になり始め、どうせやるなら1番がいい！精神で、図書室で偶然見つけた「13歳のハローワーク」という本を見て公認会計士を知ってからは、簿記を頑張って1番（公認会計士）を目指そう！と決め、勉強を始めました。

専大北上高校では、部活で素敵な先生方とメンバーに出会えて感謝しているし、クラスメートとも楽しく過ごし、簿記も日商簿記検定2級まで合格できて、とても充実した3年間でした。未来に希望をもって卒業式を迎えたのを覚えています。

（※次ページは「専北生に伝えたいメッセージ」）

◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

楽しいことや好きなことを大切に過ごしてほしいなと思います。何事もまっすぐに向き合ってみれば悩み事もでてくるとは思いますが、時には逃げ道を作りながら自分なりに精一杯向き合っていると見えてくるものがあると思います。

大人になったとき、高校生なりによくやっていたなっと思えるような3年間を送ってほしいと思います。

専北は、私立ということもあり、いろんな生徒や先生がいて、将来に向けた選択肢も数多くあると思うので、思うまま突き進んでみてください！

☆取材後記

公認会計士は、日本の三大国家資格と称され、取得するのは大変困難とされています。

原さんの現在は、まさに原さんの言われた「どうせやるなら1番」の熱い思いで取組んだチャレンジの成果であり、凄いことです。

今、専北で勉強や部活動を頑張っている皆さんの中には、各々が取り組んでいるジャンルでの「1番」を目指し頑張っている方も多いと思います。

将来、何かの理由で目指すジャンルを変更することになったとき、是非、原さんの「どうせやるなら1番」の「熱い思い」を思い出し、再び新たなチャレンジに動き出して欲しいです。

(担当：Y)